



2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月5日

上場会社名 株式会社 フェリシモ
コード番号 3396 URL <https://www.felissimo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 宮本 孝一

TEL 078-325-5555

四半期報告書提出予定日 2023年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	15,056	6.3	116		35	95.2	46	
2023年2月期第2四半期	16,066	4.9	439	52.7	732	30.9	622	33.4

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 19百万円 (96.9%) 2023年2月期第2四半期 636百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	6.54	
2023年2月期第2四半期	87.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	30,696	19,795	64.5
2023年2月期	31,543	19,882	63.0

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 19,795百万円 2023年2月期 19,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		15.00	15.00
2024年2月期		0.00			
2024年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,321	5.7	958		780		873		122.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	10,043,500 株	2023年2月期	10,043,500 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	2,920,914 株	2023年2月期	2,920,914 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	7,122,586 株	2023年2月期2Q	7,122,586 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年8月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に見直され、経済活動の正常化に向けた緩やかな回復が続くことが期待された一方で、エネルギー価格、原材料価格の高騰による物価高、世界的な金融引き締めの影響などにより景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、長期的視点から「顧客基盤の拡大」、「顧客との継続的な関係育成」、「第2の収益の柱の育成」の3点に注力し持続的な成長基盤を確立することを目指した経営活動に取り組んでおります。

そのような視座で取り組んでおります長期経営活動下における当第2四半期連結累計期間の概況といたしましては、中核事業である定期便事業は、平均購入単価は前年同期と同程度の水準で推移したものの、消費者の外出機会の増加、物価高による可処分所得の減少といった外部環境の変化がある中で、当社グループが企画する商品の圧倒的な差別化が不十分であったことや、商品が有する価値を魅力的かつ効果的に表現することが出来なかったことにより、のべ顧客数が減少いたしました。一方、雑貨ブランド「YOU+MORE!（ユーモア）」が東京・上野駅構内にリニューアルオープンした常設店舗や、福岡・天神地下街に新規出店した店舗、また東京・渋谷で開催した「大偏愛展」などのオンサイトでのマーケティング活動は順調に推移し「顧客基盤の拡大」、「顧客との継続的関係の構築」に貢献いたしました。それらの活動から得られた知見を2024年4月より15年間に渡って当社がプロデュースする神戸ポートタワー事業に活かすべくその準備を積極的に進めてまいりました。

新規事業分野におきましては、当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS（フェリシモパートナーズ）」事業において、「産地直送マルシェ」や全農との共同事業「純農」の受注が好調に推移したことにより、前年同期に比べて売上高が増加いたしました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は15,056百万円（前年同期比6.3%減）となり、売上総利益は8,054百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、出荷数の減少に伴う商品送料や業務手数料などが減少したものの、新たな人材の確保と育成、次世代のWebシステム基盤整備などの戦略的費用投入を積極的に行ったことにより、8,171百万円（前年同期比0.2%減）となりました。これらの結果、営業損失は116百万円（前年同期は営業利益439百万円）となりました。

営業外損益では、為替差益などによる営業外収益を151百万円計上したことにより、経常利益は35百万円（前年同期比95.2%減）となりました。税金等調整前四半期純利益は35百万円（前年同期比95.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は46百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益622百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ847百万円減少し、30,696百万円となりました。これは主に社債の新規購入等により投資有価証券が517百万円増加した一方で、現金及び預金が1,019百万円及び売掛金が330百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ760百万円減少し、10,901百万円となりました。これは主に電子記録債務が225百万円及び支払信託が624百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ86百万円減少し、19,795百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を46百万円計上したこと及び利益剰余金の配当106百万円を行ったことにより利益剰余金が153百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて320百万円減少し、9,823百万円となりました。

営業活動の結果減少した資金は148百万円(前年同期は340百万円の増加)となりました。これは主に減価償却費の計上394百万円及び売上債権の減少330百万円に対し、仕入債務の減少808百万円となったことによるものであります。

投資活動の結果減少した資金は63百万円(前年同期は2百万円の減少)となりました。これは主に定期預金の払戻が預入を上回ったことによる収入969百万円に対し、投資有価証券の取得による支出500百万円、有形固定資産の取得による支出127百万円及び無形固定資産の取得による支出392百万円となったことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は109百万円(前年同期比0.4%減)となりました。これは主に配当の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期通期の業績予想につきましては、2023年9月29日に開示いたしました前回予想からの修正はありません。当社の事業活動や経営成績に影響を及ぼすおそれが生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,096	11,076
売掛金	3,026	2,695
信託受益権	454	265
商品	4,691	4,742
貯蔵品	66	61
その他	546	602
貸倒引当金	△40	△43
流動資産合計	20,841	19,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,271	4,415
土地	1,950	1,950
その他(純額)	501	357
有形固定資産合計	6,723	6,723
無形固定資産		
	1,742	1,902
投資その他の資産		
投資有価証券	1,412	1,929
長期預金	500	500
その他	324	241
投資その他の資産合計	2,236	2,670
固定資産合計	10,702	11,296
資産合計	31,543	30,696
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,097	1,139
電子記録債務	2,691	2,465
支払信託	2,188	1,564
未払金	1,334	1,373
未払法人税等	72	48
賞与引当金	177	182
その他の引当金	99	98
その他	807	843
流動負債合計	8,469	7,716
固定負債		
退職給付に係る負債	2,904	2,896
その他	287	288
固定負債合計	3,192	3,184
負債合計	11,661	10,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	16,025	15,871
自己株式	△2,862	△2,862
株主資本合計	19,873	19,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	26
繰延ヘッジ損益	△4	28
退職給付に係る調整累計額	△1	19
その他の包括利益累計額合計	8	75
純資産合計	19,882	19,795
負債純資産合計	31,543	30,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	16,066	15,056
売上原価	7,441	7,002
売上総利益	8,625	8,054
販売費及び一般管理費	8,185	8,171
営業利益又は営業損失(△)	439	△116
営業外収益		
受取利息	10	30
受取家賃	4	4
為替差益	260	96
受取補償金	1	1
その他	15	19
営業外収益合計	292	151
営業外費用		
持分法による投資損失	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	732	35
税金等調整前四半期純利益	732	35
法人税、住民税及び事業税	109	6
法人税等調整額	—	75
法人税等合計	109	81
四半期純利益又は四半期純損失(△)	622	△46
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	622	△46

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	622	△46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	11
繰延ヘッジ損益	17	33
退職給付に係る調整額	△0	21
その他の包括利益合計	14	66
四半期包括利益	636	19
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	636	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	732	35
減価償却費	324	394
引当金の増減額 (△は減少)	28	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△27	13
受取利息及び受取配当金	△10	△30
為替差損益 (△は益)	△187	△82
売上債権の増減額 (△は増加)	251	330
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△112	△45
仕入債務の増減額 (△は減少)	△223	△808
未払金の増減額 (△は減少)	△188	△5
その他	△168	26
小計	417	△164
利息及び配当金の受取額	9	42
法人税等の支払額	△86	△27
営業活動によるキャッシュ・フロー	340	△148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,428	△1,451
定期預金の払戻による収入	2,424	2,421
有価証券の償還による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△130	△127
無形固定資産の取得による支出	△342	△392
投資有価証券の取得による支出	△521	△500
その他	△3	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3	△2
配当金の支払額	△106	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109	△109
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	228	△320
現金及び現金同等物の期首残高	10,704	10,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,933	9,823

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。